授業科目名	スポーツコーチング学特講	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (ｽﾎﾟｰﾂ総合科学)
担当教員名	金高　宏文・角川　隆明			補助担当者名	
単位数	2　単位	履修年次	－	受け入れ人数	20
授業の概要 及び達成目標	スポーツを教える指導者にとっての「目標」が何であるのか考えるとき、指導者と選手それぞれの「目標」が何であるのか考えなければならない。また、指導者は目標達成に向けて「何を・いつまでに・どのように」指導するかを考え、必要な知識や技能、技術を身に着けておく必要がある。本講義では、個人的な経験や研究的知見を手がかりに「コーチングとは何か」ということを教授・討論し、指導者を志す上で求められる知識や理解を深めていく。 角川は主にコーチングの理論を，金高はコーチングの実際について教授・討議する.				
成績評価の方法	□学期末試験の成績（％）　□出席状況（％）　■授業への取り組み状況（40%） ■レポート等の提出状況（60%）　を総合的に評価する。 ※各担当教員の配点は授業時間に対応し、角川50点、金高50点とする。				
成績評価の基準	自らが積極的に目標を作り、自らが考えること、課題レポートを理論的にまとめることを基準にする。その充実度や積極性が評価尺度となる.				
テキスト、教材 参　考　書	その都度，教員または受講者が準備する．必要とする参考資料は適時紹介、配付する。詳しい資料は「Web-Class」より授業後にダウンロードすること。 参考図書として，「コーチング学への招待（大修館書店，@2,700円）推薦する.				
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッセージ含む)	指導者に相応しい幅広い知識の習得に心掛けること。		
オフィス・アワー	金高：水曜日　15:00～16:00(大学院棟３階　教員研究室４) 角川：月～金曜日　14時～16時　実験プール(注意)事前にアポイントを取ること。				

授業計画

回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、ﾚﾎﾟｰﾄ等課題の指示)
1	金高　宏文 角川　隆明	オリエンテーション	
2	角川　隆明	なぜコーチをするのか、コーチの目標とは何か	予習（授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分）
3	〃	コーチや選手の役割と求められる資質、能力	予習（授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分）
4	〃	コーチと選手の関係性、コミュニケーション、組織	予習（授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分）
5	〃	コーチや選手をとりまく環境や問題	予習（授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分）
6	〃	コーチングにおける科学的知見の活用	予習（授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分）
7	〃	各競技種目におけるコーチング事例①	発表資料作成および準備、レポート作成（60分）
8	〃	各競技種目におけるコーチング事例②	発表資料作成および準備、レポート作成（60分）
9	金高　宏文	コーチング・ケーススタディの行い方	ケーススタディーの分析（30分）
10	〃	コーチング・ケーススタディ（１）発表・討議	授業の振り返りとコーチング・ケースの準備（40分）
11	〃	コーチング・ケーススタディ（２）発表・討議	授業の振り返りとコーチング・ケースの準備（40分）
12	〃	コーチング・ケーススタディ（３）発表・討議	授業の振り返りとコーチング・ケースの準備（40分）
13	〃	コーチング・ケーススタディ（４）発表・討議	授業の振り返りとコーチング・ケースの準備（40分）
14	〃	コーチング・ケーススタディ（５）発表・討議	授業の振り返りと総括レポートの準備（60分）
15	金高　宏文 角川　隆明	補足とまとめ	授業の振り返りと総括レポートの作成（120分）